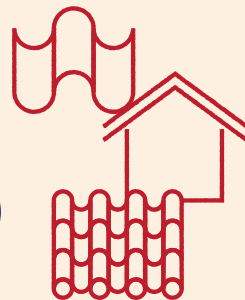




あらかわ 空き家のはなし



数年間、空き家だった建物が、地域の人たちの集まるコミュニティカフェとして生まれ変わった、西尾久の「まどぬ荘」。区の空き家活用の事業でサポートし、地域の居場所ができました。

「近所で声をかけて、空き家を防ごう！」

近年、全国で大きな課題になっている、空き家増加の問題。荒川区も例外ではありません。空き家が生まれる原因は、持ち主の暮らしや状況の変化、相続、権利関係のもつれ、借地、建物の老朽化などさまざまです。この近所で空き家になりそうな家や建物があれば、声をかけ合い、空き家が生まれない地域を目指しましょう。区でも建物の活用などの相談に対応しています。

空き家を使って、街を元気に

西尾久にできた「まどぬ荘」は、空き家だった建物を活用して、地域の寄りどころカフェにしたお店です。活用のきっかけは、近所で高齢者の御用聞きサービスの仕事をしている方が、建物の所有者の方に声をかけたことでした。建物は長く使われていきましたが、この声をきっかけに、活用を考えることになりました。

した。活用には区もサポートを行い、使われていなかった建物が、お年寄りも気軽に立ち寄れる地域の居場所に生まれ変わりました。



大家さんも街の人も喜ぶ、建物の使い方

空き家になっていた建物が「まどぬ荘」として生まれ変わり、地域の人たちの喜ぶ使われ方になってうれしいという、大家の奥さん。お年寄りだけでなく、若い子育て世代にも利用され、賑わいも生まれて良かったと語っていました。



スタッフは、地域の活動やボランティアに興味のある若い学生が中心です。



若い学生のスタッフも、やりがいを感じる場に



区では建物の活用などの相談を受け付けています。貸したり売ったりするときのことを知りたい、将来に向けて建物のことを考えておきたい、など気軽にご相談ください。

建物のこと、
気軽に相談できます

そんな若者たちにとって、まごの荘は働きながら自分のやりたいことに挑戦できる場になっています。毎日来てくれるお年寄りの方もいて、そんな人たちから自分が考えたメニューをほめてもらえると、やりがいを感じるそうです。

区もお手伝いします！ お持ちの建物、活用しませんか？

荒川区では、空き家活用の取り組みとして、お持ちの空き家・空きスペースの活用や、建物の将来的な活用などについての相談、入居者の紹介などのお手伝いをしています。

また空き家の活用によって地域活性化に取り組む「荒川エリアリノベーションプロジェクト」を行っています。

なぜ建物を活用すると良いのか

荒川区に住みたい人や、新しくお店を開きたい人など、使える建物を探している人たちがたくさんいます。若い世代に空き家を使ってもらうことで、地域の魅力の向上や活性化につながり、家賃収入も得られます。また管理不足による建物の老朽化や近隣環境の悪化などのトラブルを防ぐことができます。

下町らしい地域活性化を目指す 「荒川エリアリノベーションプロジェクト」

町屋、荒川、東尾久、西尾久の地域で、空き家の活用による地域活性化に取り組むのが、区で行っている「荒川エリアリノベーションプロジェクト」です。

この地域には商店街をはじめ、さまざまな場所に店舗などの事業や活動の拠点があること、下町らしい人のつながりや、お互いさまの精神が息づいていることが特徴です。またそんな環境があることで、まちを楽しくするさまざまな活動が生まれ、それが地域の魅力につながっています。

このプロジェクトでは、空き家の活用などに取り組むことにより、新たな活動が生まれ、地域の魅力がさらに高まることを目指していきます。

活動がまちの魅力や課題解決になる

身近なところに活動の場や人のつながりがあることは、地域課題の解決の効果も期待できます。子育て支援や、高齢者ケアの拠点などは、その分かりやすい例です。また災害時には、地域のコミュニティがあることが、防災に直結します。さらに現代では孤立も大きな社会課題。居場所や集う場になる店や拠点が地域にあることが重要で、そんな場のある環境に住みたいと考える人も増えています。

空き家や空きスペースを放置せず、事業や活動をしたい人に使ってもらうことは、地域の安心や安全を保ち、課題を解決する上でとても重要です。

「荒川エリアリノベーションプロジェクト」では活用方法の相談対応なども行っています。ぜひ、気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

荒川区防災都市づくり部住まい街づくり課住宅係
☎ 03-3802-4303

公式サイト

